

FAQ -よくある質問-

【文学部生・他学部生】

- ① 時間割の入手方法を教えてください。

時間割は文学部 HP にて、抽選科目を含む履修登録期間開始までに公開しますので、各自ダウンロード・印刷等してください。

時間割は公開後に変更されることがありますので、掲示板や BEEF も併せてよく確認してください。

ただし、大幅な時間割変更が生じた場合には、データの差し替えを行うことがあります。

- ② 自分が履修することのできる科目が分かりません。

時間割の各科目右端に「履修制限」欄がありますので、ここを確認してください。それぞれのマークの意味は、時間割 2 ページ目に掲載されています。資格免許取得等の例外的な理由がない限り、この制限を無視した履修は許可されません。

なお、履修制限欄に「高度教養」と書かれた科目は、他学部生については抽選期間内の事前登録制となります。履修登録期間中の履修登録はできませんので、注意してください。

「聴講（単位付与・成績評価なし）」については、教員の許可があれば履修制限に関わらず可能です。各自担当教員に相談してください。

- ③ クォーター制のセメスター運用とは何ですか。（～2022 年度生）

文学部では、クォーター制科目（科目名の後ろに(a)(b)と付く科目）は、(a)(b)を同時期に両方履修しなければ、単位が付与されません。成績は(a)(b)それぞれに付きますが、片方のみ単位取得することはできません。

例年履修登録ミスが散見されますので、特に注意してください。

※ただし、高度教養科目については、(a)もしくは(b)のみの履修及び単位取得が可能です。

- ④ セメスター開講科目・クォーター開講科目の履修要件はどのようになっていますか。

文学部では、以下の入学年度で履修要件が異なります。

間違えないように、自分の入学年度のとおりの開講科目を履修してください。詳細につ

いては、学生便覧を参照してください。

他学部生が文学部開講科目の履修を希望する場合は、自身の入学年度に従って、文学部の科目を履修してください。

➤ 2016～19 年度：クォーター開講科目のみ

➤ 2020～22 年度：セメスター開講科目・クォーター開講科目併用

※セメスター開講科目は時間割上コード朱字表記

➤ 2023 年度～ ：セメスター開講科目のみ

※文学部の過年度生（2019 年度以前生）については、事務で履修登録を行います。メールでお知らせする所定の期日までに、教務学生係に履修を希望する科目を届け出てください。開講科目は 2020～22 年度生時間割を参照してください。

⑤ 資格免許取得のために履修したい授業があるのですが、手続きは必要ですか。

教員免許関係科目及び学芸員関係科目について、他学部生が履修できる科目は、時間割の各科目右端に「履修制限」欄がありますので、確認してください。

履修制限欄に記載されているマークが該当している場合、通常の履修登録が可能です。大学院生が免許取得に関する科目を履修する場合、通常の履修登録ができないことがありますので、教務学生係へ申し出てください。

所定の様式に必要事項を記入し、授業担当教員の許可を得たうえで、履修登録期間内に教務学生係に提出してください。

※資格免許取得を目的とする場合以外は、原則として許可できません。

⑥ 授業の教室等の情報はどこで見ることができますか。

対面授業の教室は時間割に掲載しますが、変更になる場合があります。文学部事務室前の掲示板にてお知らせしますので、各自確認してください（授業担当教員が BEEF に掲載する場合もあります）。また、遠隔授業で用いる Zoom コード等の情報も、BEEF・うりばーネット等、授業担当教員によって提供方法が異なりますので、教員の指示に従ってください。

⑦ 時間割上とシステム上で、授業開講形態の表記が異なるのですが…。

時間割上には「実際にどのように授業を行うか」が全て記載されますが、システム上には「卒業要件単位数に含めることのできる上限 60 単位の対象となる（以下、遠隔 60 単位と記載）」【遠隔】もしくは【ハイブリッド（遠隔）】のみが記載されます。

このため、遠隔 60 単位の対象とならない科目については、システム上は【対面】と表示されます。システム上で【対面】と表示されている科目については、実際の授業開講形

態に関わらず、遠隔 60 単位には算入されません。

なお、遠隔 60 単位対象科目は文学部 HP に掲載しているので、確認してください。

※【ハイブリッド（対面）】授業は、遠隔 60 単位対象科目には含まれません。

遠隔 60 単位の上限単位数を確認する際は、システム上【遠隔】もしくは【ハイブリッド（遠隔）】と記載されている科目のみを計算してください。

⑧ アクセスポイントは利用できますか。

文学部では空き教室をアクセスポイントとして使用できます。ただし、用途は遠隔授業受講のみとし、就職活動・部活動・教員との面談等には利用できません。また、突発的な利用申請によって教室を移動してもらう場合があります。

【文学部生】

- ⑨ グローバル人文学専門英語のクラスは自由に選べますか。

所属専修が「グローバル人文学専門英語」を開講している場合、原則としてそのクラスを履修してください。所属専修がクラスを持たない場合や、必修科目と重なる等のやむを得ない事情で所属専修のクラスを履修できない場合は、履修を希望するクラスの担当教員の許可を得て、履修登録期間中に履修登録を行ってください。

※必ず担当教員の許可が得られるとは限りませんので、いくつか候補を用意してください。

- ⑩ 文学部開講の第二外国語の言語は自由に選べますか。

文学部開講の第二外国語は、全学共通授業科目の外国語科目で選択した外国語と同じでなければなりません。所属専修での学習のため等にそれ以外の言語を文学部で履修したい場合には、授業担当教員の許可を受けて聴講してください。

- ⑪ 時間割について、問い合わせ先が分かりません。

文学部生が履修する科目は、主に「文学部開講科目」「教養教育院開講科目」「教職関連科目」です。

- 「文学部開講科目（時間割コード：○L○○○）」については文学部教務学生係
- 「教養教育院開講科目（時間割コード：○U○○○）」については学務課共通教育グループ
- 「教職関連科目（時間割コード：○Q○○○）」については学務課教育推進グループに問い合わせてください。

なお、他学部・他研究科開講科目についても同様に、開講部局に直接問い合わせてください。

- ⑫ 集中講義の履修について、注意することはありますか。

集中講義は、通常の履修登録期間に加え、開講初日の2業務日前までは窓口で履修申請をすることができます。ただし、事前準備を必要とする科目も多いので、確実に履修することができるかをよく確認してください。

通常の講義期間内に特別に開講される場合を除き、他の授業と日程が1日でも重なるものは履修できません（遠隔オンデマンド授業の場合も同様です）。なお、スケジュール変更等教員の都合による場合は、開講初日の2業務日前までは取り消しの申請ができます。

ので、判明次第取り消しの申請をしてください。

最終年次の学生については、卒業・修了者発表日以降に開講される集中講義の履修を希望し、かつその単位が卒業・修了に関わる場合には、事前に教務学生係に相談してください（場合によっては、対象の集中講義履修を許可できない可能性があります）。

- ⑬ 「卒業論文関連科目」は、合計単位数以上を取得すればよいですか。

いいえ、違います。「卒業論文関連科目」は、専修で定められたいくつかの科目群の中からそれぞれに必要な単位数を修得し、その科目群ごとの要件を満たしたうえで合計単位数を揃える必要があります。

例年科目群ごとの要件を満たしていない学生が散見されますので、注意してください。

- ⑭ 文学部専門科目の繰り返し履修について、制限はありますか。

文学部専門科目は繰り返し履修が可能です。

ただし、一部対象外の科目があります。詳細については「履修要項」の専門科目一覧【注1】を参照してください。

- ⑮ 卒業論文や特別研究の履修登録は必要ですか。

はい、必要です。指導教員ごとにコードを割り当てていきますので、コード表を参照し、履修登録期間内に履修登録を行ってください。

履修登録のタイミングは以下のとおりです。

➤ 卒業論文：学部生対象科目

博士論文指導演習：大学院生（後期課程）対象科目 ※2020 年度以前入学生対象
卒業を予定する学期始めの履修登録期間

（例）令和 6 年 3 月に卒業予定の場合、令和 5 年 1 0 月に登録

➤ 特別研究：大学院生（前期課程）対象科目 ※2021 年度以降入学生対象

1 年次及び最終学年次の 4 月にそれぞれ 1 回ずつ（計 2 回）

（例）令和 5 年 4 月（1 年次）及び令和 6 年 4 月（2 年次）の計 2 回

➤ 特別演習：大学院生（後期課程）対象科目 ※2021 年度以降入学生対象

2 年次及び最終学年次の 4 月にそれぞれ 1 回ずつ（計 2 回）

（例）令和 6 年 4 月（2 年次）及び令和 7 年 4 月（3 年次）の計 2 回

※注意※

特別研究・特別演習は通年開講科目です。休学等の事情で半期履修を行う必要がある場合には、必ず指導教員に申し出て指示を受けてください。